

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 6 月 8 日

事業名称		戸籍事務費〔戸籍関係事務〕										
予算科目	款	2	総務費	項	3	戸籍住民基本台帳費	目	1	戸籍住民基本台帳費	事業番号	2	
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの										
担当部署・課長名		市民課				課		戸籍係		係 課長名 梶川義夫		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書(ページ)		122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	戸籍届出 →					本籍数(3月31日現在)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	正確に戸籍に記載し、素早く証明を発行できるようにする。 →					届出処理件数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	届出受理後、平日中3日以内に証明書を出せるようにする。 →					戸籍証明書の発行件数						
	単位		過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標					
3 経費	対象指標	①の数値	件	27,045	27,258	27,432						
	成果指標	②の数値	件	3,839.0	3,713.0	3,877.0						
	目 標	②の目標値										
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)											
	活動指標	③の数値	件	18,862	18,883	19,589						
4 課題	事業費(実績)		円	20,318,251	21,312,543	22,357,434	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	11,471,701	12,614,243	13,924,784						
		特定財源	円	8,846,550	8,698,300	8,432,650						
		(うち受益者負担)	円	8,673,750	8,698,300	8,347,650						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	5.0	5.0	5.0						
		所要人数(再任用)	人	1.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	41,265,000	41,220,000	41,550,000						
職員人件費(再任用)		円	3,020,000	0	0							
事業費+人件費		円	64,603,251	62,532,543	63,907,434							
今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 現在のメンバーで事務を行う分には問題ないが、異動があった際に同じ処理速度は維持できない。 令和2年4月から窓口業務等委託を実施し、民間のノウハウ等を活用する。												
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 戸籍経験が長く異動に近い職員について、庶務を担当してもらう。 その職員に頼らずとも、戸籍事務を行うことができるようにし、異動に備える。 各マニュアルを作成し、職員の異動時の処理速度の低下を抑えるようにする。											